

北九州市PCB処理監視委員会だより

Vol.1

平成14年
3月

環境事業団が若松区響灘地区で計画しているPCB廃棄物処理事業が、安全かつ適正に行なわれるよう、北九州市は、施設の計画、建設、操業の各段階を通して監視を行う「北九州市PCB処理監視委員会」を平成14年2月14日に設置しました。

監視委員会の活動内容については、「監視委員会だより」を発行し、隨時、市民の皆さんへお知らせします。

1. 北九州市PCB処理監視委員会について

1) 監視委員会の委員

北九州市PCB処理監視委員会は、学識経験者5名、市民代表7名の計12名で構成します。

公募による選出者は、昨年末の約1ヶ月間で54名の応募があり、作文審査や面接の結果、最終的に5名が決まりました。

2) 活動内容

A. 関係行政機関からの説明

環境事業団や関係行政機関から事業の説明を受けます。

イ. 書類の閲覧

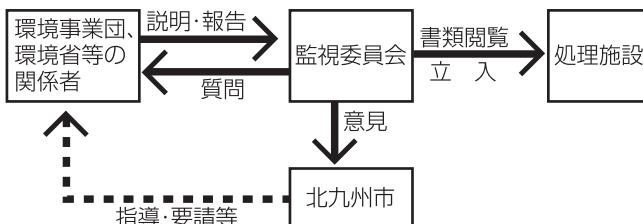
事業に関連する書類を閲覧できます。

ウ. 立入

処理施設の管理区域内などへ立入できます。

エ. 意見の提出

事業の安全かつ適正な実施の見地から、市に対し意見を提出できます。(市は、提出された意見を踏まえ、関係者へ指導・要請等を行います。)



3) 活動期間

PCB処理事業が終了する平成28年3月まで
(今回の委員の任期は、平成16年3月まで)

4) 委員会の公開

● 委員会は傍聴できます。

傍聴は、委員会開催ごとの事前申し込み制です。

● 資料、議事録などは市のホームページで見ることが出来ます。

北九州市PCB処理監視委員会委員

◎委員長、○副委員長

1) 学識経験者

氏名／所属	分野等	住所
○浅岡 佐知夫 北九州市立大学 国際環境工学部教授	反応化学、 プロセス工学、 分子反応工学、 分析化学	若松区
是永 逸生 (社)日本技術士会九州支部 北九州地区代表幹事	精密工学、 労働安全	若松区
杉本 旭 北九州市立大学 国際環境工学部教授	環境安全工学、 環境メカトロ工学	八幡西区
東 敏昭 産業医科大学 産業生態科学研究所教授	産業保健、 作業病態学、 リスクアセスメントマネージメント	八幡西区
吉永 耕二 九州工業大学工学部教授	応用化学、 高分子化学	八幡西区

2) 市民代表

ア) 市民団体からの推薦者

氏名	推薦団体	住所
○稻永 勝	若松区自治総連合会	若松区
柿内 よし子	北九州市女性団体連絡会議	若松区

イ) 公募による選出者

氏名	職業	住所
嶋津 元彦	元団体職員	若松区
津田 潔	元会社員	若松区
成田 裕美子	自営業専従者	小倉北区
古野 和彦	団体職員	若松区
水城 秀信	大学生	戸畠区

2.第1回 北九州市PCB処理監視委員会について



平成14年2月14日 於:小倉リーセントホテル

第1回北九州市PCB処理監視委員会を、平成14年2月14日(木)10時30分から、小倉北区の小倉リーセントホテルにおいて開催しました。

当日は、監視委員会委員12名、監視委員会の顧問である浅野教授(福岡大学法学部)のほか、環境事業団、環境省や北九州市などPCB処理事業に関連する行政機関が出席しました。また、34名の市民の方が傍聴しました。

【議事内容】

(1)これまでの経緯について

平成12年12月に、国から北九州市に対するPCB処理施設の立地要請があつて以降の、これまでの経緯について、北九州市から説明がありました。

(2)北九州PCB廃棄物処理事業について

北九州PCB廃棄物処理事業の概要、安全対策などについて、環境事業団から説明がありました(説明内容別掲)。

また、PCB廃棄物の収集・運搬に係る検討状況について、環境省、福岡県から説明がありました。

(3)今後の活動について

委員会の開催時期など、監視委員会の今後の活動方針について確認しました。(委員会は年4回程度開催、本年夏以降国内のPCB処理施設の視察の実施など)

なお、第2回委員会は、14年5月ごろの開催を予定しています。

【討議内容】

委員会では、以下のような質疑・応答がありました。

(質問) 委員

処理方式は、脱塩素化分解法と光分解法が候補とされているが、その理由は。

(回答) 環境事業団

処理の完了確認が確実かつ容易に行える方式(バッチ処理*)であることに加え、常温常圧に近い状態で処理が行えること。

(質問) 委員

保管能力を超えて運び込まれたPCBは、どうするのか。

(回答) 環境事業団

北九州市及び岡山県以西の17県で構成する17県協議会と調整を行い、保管能力を超えて運び込まれないよう計画的な搬入を図る。

(質問) 委員

本事業における国の責任は。

(回答) 環境省

環境事業団が行う処理事業については、環境省に監督責任がある。

運搬過程については、国の機関が収集運搬を行うわけではないが、国は、各事業者の責任を明確にしていく。

(質問)委員————

他の地域における施設計画の状況は。

(回答)環境省————

大阪市が、処理施設の立地について表明しており、現在、立地場所の検討を行っている。

また、東海地方、関東地方、北陸、東北・北海道のプロックごとに、環境事業団による施設を立地したいと考えており、関係自治体と調整している段階である。

(意見)委員————

最終的な責任は国が取るということだが、命が失われたり事故が起こった場合に国が責任を取っても、どうしようもない。

若松に住んでおり、またエコタウン地区の近くに住んでいるので、安全を第一にお願いしたい。

* バッチ処理…処理装置に投入したPCBの処理完了を確認したのち、次のPCBを投入し、処理すること。

環境事業団の説明内容(骨子)

○事業計画の概要

[施設立地場所]

若松区響灘地区「北九州エコタウン総合環境コンビナート隣接地」

[処理対象物]

岡山県以西17県のPCB廃棄物(100%PCB換算で約11,000トン)

[施設の能力]

第1期:0.5トン／日(PCB油分解量) 第2期:6.0トン／日(PCB油分解量)

[処理方式]

前処理方式:洗浄法と真空加熱分離法の組み合わせ

※前処理とは、PCB油が入っているトランス等の容器からPCB油を分離すること。

液処理方式:化学処理法(脱塩素化分解法又は光分解法)

※液処理とは、前処理において分離されたPCB油を化学的に分解すること。

○施設計画の概要

学識経験者で構成する「PCB廃棄物処理事業検討委員会」を設置し、北九州市から提示された地域条件を踏まえ、詳細な技術的検討を行った。

現在、この検討結果(以下)を踏まえた仕様により、業者発注手続を行っている。

(2月8日付官報にて入札公告を掲載。)

[施設の特徴]

- 工程全体について、高い安全性を有し、安定的かつ弾力的な運転ができるようにする。
- 様々なリスクを想定し、その回避、低減化等を図ることを基本に、多重チェック体制や万が一トラブルが起こっても影響を最小限に抑える措置等を講じる。
- 作業従事者や見学者に配慮した施設配置とする。
- 施設の運転や作業環境、周辺環境の把握に必要な情報を一元的に管理し、情報提供を行う。
- 残さの適正処理、処理済物のリサイクルを推進する。

[環境安全に係る取り組み]

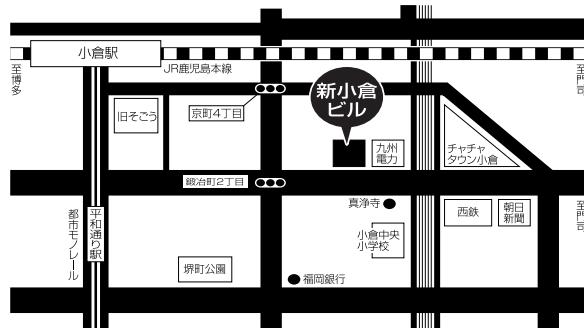
- 施設内における管理区分の設定
- 排気・排水、施設周辺の環境、作業環境に係るモニタリング(環境測定)
- 緊急時における対応策、連絡体制、支援体制

○今後の予定

着工:平成14年度末(第1期)

操業開始:平成16年度後半(第1期)

PCB処理事業に関するお問い合わせは、
環境事業団 北九州事業所 TEL093-513-8064
〒802-0003 北九州市小倉北区米町2-2-1 新小倉ビル本館3階



PCB処理に関する情報は、環境事業団のホームページに掲載しています。
<http://www.jec.go.jp/pcbtop.htm>

PCB処理監視委員会に関するお問い合わせは、
北九州市PCB処理監視委員会事務局（下記）まで

PCB処理監視委員会やPCB処理事業に関する情報は、
市のホームページに掲載しています。
<http://www.city.kitakyushu.jp/~k2602010/sesaku/pcb1.htm>

[発行] 北九州市PCB処理監視委員会事務局
北九州市環境局環境産業政策室
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
TEL093-582-2630
FAX093-582-2196